

アジアモンスーン地域で利用可能な簡易・高感度な口蹄疫抗原検出キット

生産

実装

品目:畜産

越境性疾病の予防

概要

特別な機器を必要とせず、野外で利用が可能な口蹄疫ウイルス抗原を高感度かつ短時間で検出できる口蹄疫抗原検出キットは、牛、豚、山羊、緬羊を対象に、口蹄疫の病変がある舌や口腔内からウイルスを検出できる。

背景・効果・留意点

伝染力の強い口蹄疫の防疫において、発生時の初動防疫が重要であるため、現場での迅速な一次検査が有用である(図1)。開発した口蹄疫抗原検出キットは、日本国内に限らず、社会的インフラ整備の不十分な国や国土が広大な国などへの普及も見込まれる。

また、口蹄疫ウイルスの保存性の高い構造蛋白領域を認識するモノクローナル抗体を用いることで、血清学的に異なる7タイプ全ての検出が可能であり、全7血清型を識別可能な型別キットも開発済みである。実用化されれば、簡易・迅速な血清型判別を可能にし、口蹄疫常在国での活用により、周辺国へのより詳細な流行状況の情報提供を可能とする。

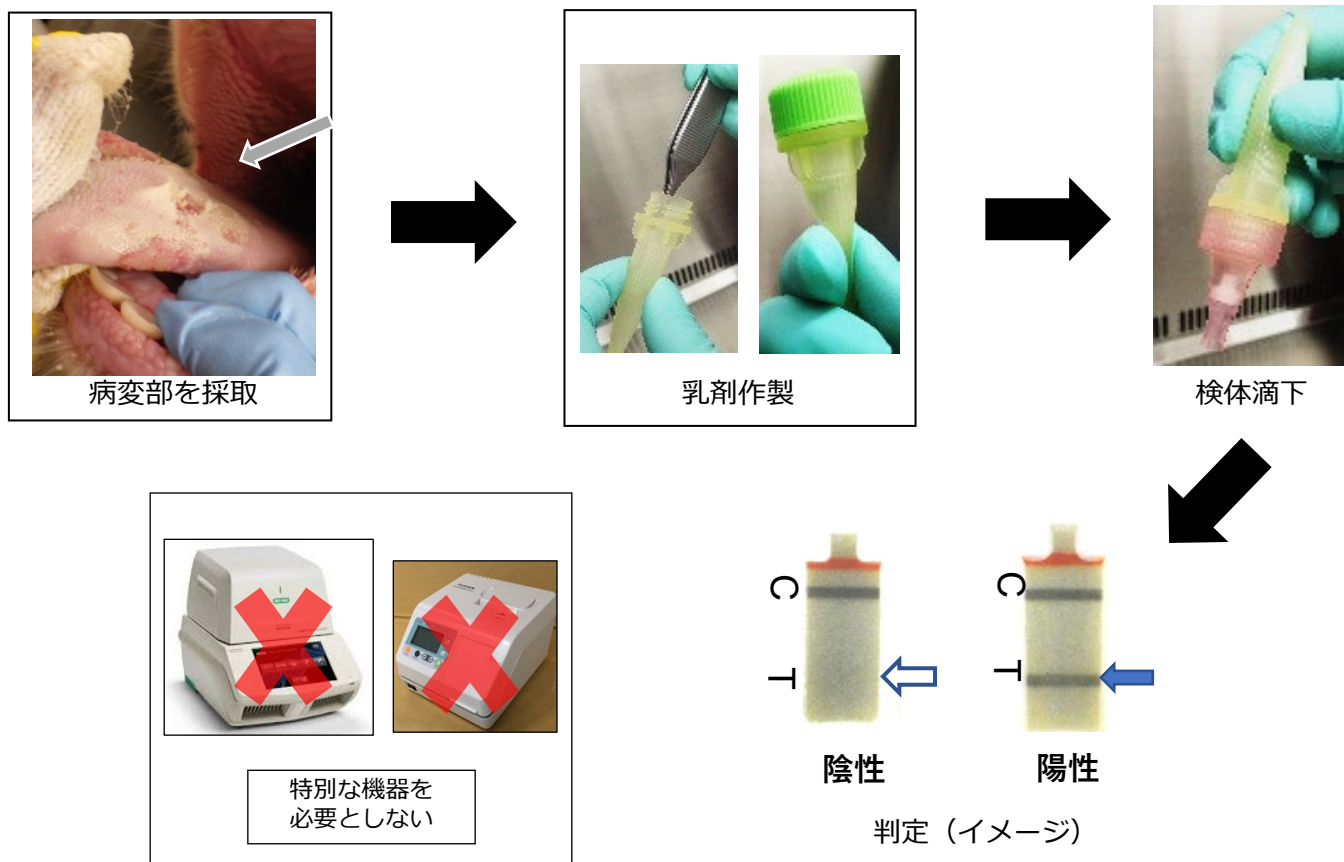


図1 口蹄疫抗原検出キットの使用法



技術の詳細

https://www.naro.go.jp/project/results/4th_laboratory/niah/2019/19_051.html

問い合わせ

greenasia-ml@jircas.go.jp

国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構

